



今月の話題

東北研修旅行レポート

トルクメニスタン: JICA 技術協力プロジェクト本邦研修の実施

新しいパンフレットの紹介

WCEE2024 での IISEE 展示ブースと同窓会(7月3日)のお知らせ

(短報)個人研修の開始、壮行会の開催

東北研修旅行レポート

サマプタ ブリリアン タタク (インドネシア、地震学コース)

東北地方をめぐる素晴らしい研修旅行を振り返ると、忘れられない体験を共有できたことへの感動と感謝の念がこみ上げてきます。地震災害の複雑さを深く掘り下げた東北大学での興味深い講義から、記念館や避難場所への感動的な訪問まで、一瞬一瞬が畏敬の念と感動に満ちていました。津波伝承館で被災者の話を聞いたときは、身が引き締まる思いと同時に、逆境に立ち向かう人間の精神の強さを思い知らされました。そして、復興と再生に向けた努力を目の当たりにし、未来への希望と活力を感じました。東北に別れを告げながら、私は東北のコミュニティの強さと決意に対する賞賛の念でいっぱいになりました。

災害や日本文化についての知識を深めるだけでなく、逆境からの復興についての理解を深めることができる、このような研修旅行がもっと増えることを願わずにはられません。今後も共に学び、成長する機会が増えることを期待しています！



東北大学での講義



仙台城跡 (伊達政宗公騎馬像)

ウヨア ウマンソル ホセ リカルド（エルサルバドル、地震工学コース）

東北地方を巡る旅は、相反する感覚が入り混じるものでした。訪れた都市、町、公園、寺院に映し出された日本の美しさは、私の記憶に喜びとして刻み込まれました。一方で、津波が襲い、何百人もの命が奪われた現場に立ち会ったことは、私に深い悲しみを呼び起こしました。みやぎ東日本大震災津波伝承館で頭上6.9メートルという津波の高さを説明されたときの気持ちや、荒浜小学校の屋上に立ち、四方八方を眺めながら、今は姿を消した何百人もの人々がそこでどのように日常生活を送っていたかを想像したときの感情は忘れられません。しかし、自然災害に見舞われやすい国であるにもかかわらず、決して震災の経験を忘れることなく、より良く強靱な未来を築くために一つひとつの出来事から忍耐強く学んでいる日本の姿勢は称賛に値するものです。間違いなく、この旅は忘れられない経験となりました。



日和山公園



いわき震災伝承みらい館

ハリヤント ファジャール トリ（インドネシア、津波防災コース）

2024年4月23日から26日まで、私たち津波コース研修生は東北地方への研修旅行に参加し、2011年の東日本大震災で被災したいくつかの市町を訪れました：松島、石巻、女川、南三陸、気仙沼、陸前高田、大船渡、釜石、宮古です。これらの中には、昭和の時代からすでに津波災害への備えがなされていた地域があるのは興味深いです。例えば、宮古市田老では、昭和三陸津波（1933年）のわずか1年後の1934年に海岸近くの防潮堤建設に着手し、1958年に完成させています。その後、さらに2つの防潮堤を建設されています。昭和三陸津波についての記録が、津波に流された巨大な石（集合写真の中央）に書かれています。

今回の研修旅行では、ハード面（防潮堤、避難所、高台）だけでなく、ソフト面（津波避難教育や訓練）の重要性についても学びました。例えば、荒浜小学校では、避難場所が2010年のチリ津波以前は体育館でしたが、チリ津波後、別の場所に変更することを決めました。この措置によって、2011年の東北地震津波での生存者数が大幅に増えました。一方、大川小学校は北上大橋を避難場所を選びましたが、残念ながら津波は橋まで到達し、橋の代わりに高台へ避難した数十名のみが助かりました。



吉浜の津波石

2011年の東北地震津波で被災したほとんどの市町村は、震災から10年以内にはほぼ復興しています。より高い防潮堤を築き、山を掘削し、高架道路を作り、住宅地を高台に移転し、新しい規制を作り、地震や津波に強い都市計画を設計しています。これは、地震や津波の多い地域に住む人々の意志と忍耐力を示しています。

この研修旅行は、過去の津波についての知識を深め、将来の津波災害を軽減するために役立つ大変有益なものでした。

トルクメニスタン: JICA 技術協力プロジェクト本邦研修の実施

国際地震工学センター

トルクメニスタン国からの要望に基づき実施中のJICA技術協力プロジェクト「アシガバット市周辺における地震モニタリング改善プロジェクト」の一環として、日本の地震モニタリングと解析技術を習得し、地震観測能力の向上と地震防災への利用を学ぶことを目的とした研修プログラムを6月11日から20日にかけて実施、地震観測データ・強震観測データの処理と地震防災への利用方法、地震ハザード評価のための物理探査手法とその利用方法、地震観測データ、強震観測データの整理・蓄積・公開方法などについて鹿嶋特別客員研究員、井上特別客員研究員、原上席研究員、林田主任研究員が講義を行い、同国の地震観測および地震防災に係る機関職員5名が受講しました。



新しいパンフレットの紹介

国際地震工学センター

IISEE のパンフレット（英語版）をアップデートしました。国際地震工学研修に興味のある関係機関などへのPRにご活用ください。

https://iisee.kenken.go.jp/en/assets/pdf/brochure_en_20240607.pdf

WCEE2024 での IISEE 展示ブースと同窓会(7月3日)のお知らせ

国際地震工学センター

6月30日から7月5日にかけて、イタリア・ミラノで世界地震工学会議（WCEE2024）が開催されます。センターからは8名の研究員が参加する予定です。

学会会場にはIISEEのブースを出展します。学会に参加される方は、ブース（B44番）に是非お立ち寄りください。

また、7月3日にはIISEE同窓会（夕食会）の開催も予定しています。

出席を希望される方は、Eメールあるいはブースにてお知らせください。

皆様とミラノでお会いできることを楽しみにしています！



16WCEE での IISEE 同窓会の様子
(2017年1月、チリ・サンティアゴ)

(短報)個人研修の開始、壮行会の開催

国際地震工学センター

2023-2024年度の国際地震工学通年研修における集団研修は5月17日をもって完了、個人研修が5月20日より始まりました。6名の研修生が遠隔地に滞在し指導を受けるに際し、5月16日壮行会を行いました。



■ 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。
ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiseenews@kenken.go.jp

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/>



バックナンバーは下記をご覧ください。

<https://iisee.kenken.go.jp/jp/newsletter/>

研修データベース

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

E ラーニング

IISEENET(地震防災技術情報ネット)

IISEE-UNESCO レクチャーノート

地震データベース

地震情報

世界の被害地震の表

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、
余震分布等)